

9

人権教育に視点をおいた学習指導案の作成



● 人権教育を通じて育てたい資質・能力は、知識的側面、価値的・態度的側面及び技能的側面の3つの側面として捉えることができます。学習指導にあたっては、教科等の指導内容の関連づけや、学年間・学校段階間の系統性を図りながら、これらの育てたい資質・能力の育成を総合的に位置づける必要があります。

一方、各教科等には、学習指導要領に示された目標やねらいがあり、この目標やねらいを達成することが求められます。

そこで、人権教育をどのように位置づけ、実践するかについては、工夫・検討が必要です。人権教育の位置づけや実践を明確にするために、学習指導案では、次のような記述例が考えられます。

項目例	工夫したい点
指導案名	・「社会科学習指導案（人権教育）」というように、各教科等の目標やねらいを明確にするために、各教科等の名前を明示した指導案名にします。
「人権教育とのかかわり」	・主題設定の理由・単元設定の理由には、ねらいについての教師の考え方、児童生徒の実態と教師の願い、教材・題材を取り上げた意図及び指導の方策等を記述しますが、そこに（学校が全体計画に示した）人権教育で育てたい資質・能力の観点からも記述します。 ・「人権教育とのかかわり」という項目を別に設けて記述する方法もあります。その場合、以下の「人権教育の視点」「人権教育にかかわる配慮点」との整合性を大切にします。
「人権教育の視点」	・本時のねらいや学習内容、指導方法と、各学校の人権教育で育てたい資質・能力がどう関連しているかを明確にするために、「人権教育の視点」というような項目を、本時の主眼と別に設ける方法があります。主眼の内容と「人権教育の視点」が一致する場合には、主眼のみにすることもできます。
「人権教育にかかわる配慮点」	・「人権教育の視点」を受けて、人権教育で育てたい資質・能力を育成するための学習内容や指導方法、児童生徒や環境等での人権上の配慮等を、展開の中に具体的に記述します。

道徳科の学習指導案では（項目例）

道徳科指導案（人権教育）

主題名

教材名

主題設定の理由（人権教育とのかかわり）

ねらい

人権教育の視点

指導上の留意点

展開 ◇人権教育にかかわる配慮点

社会科の学習指導案では（項目例）

社会科学習指導案（人権教育）

単元名

単元設定の理由（人権教育とのかかわり）

単元の目標

単元展開（指導計画）

本時案

(1) 主眼

(2) 人権教育の視点

(3) 指導上の留意点

(4) 展開 ◇人権教育にかかわる配慮点

第5学年 道徳科学習指導案(人権教育)

1 主題名「希望と勇気をもって」 A(5)希望と勇気, 努力と強い意志 (1時間扱い)

2 教材名「これがぼくの足」(信濃教育会出版部「わたしたちの道5」第六版)

3 主題設定の理由

道徳的 価値	一人の人間としてよりよく生きていくためには、自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、より高い目標を設定し、その実現を目指して勇気をもって困難や失敗を乗り越え、努力することが重要である。
児童の 実態	先人や著名人の生き方に触れて憧れたり、自分の夢や希望を膨らませたりしている。一方で、思うように結果が出ないと、すぐにくじけてあきらめてしまう姿が見られる。
教材の 活用	丸山選手がパラリンピックの大会でゴールした場面を追求の中心場面とし、希望をもつことの大切さや、困難を乗り越える人間の強さについて全体で追求することで、目標を立て、努力することの意義やよさを考える。

4 人権教育とのかかわり

- パラリンピックの概要について理解する。(知識的側面)
- 障がいに対して偏見をもつことなく、互いの人権を認め合おうとする。(価値的・態度的側面)
- 他者の痛みや感情を共感的に受容し感じ取ることができる。(技能的側面)

5 ねらい

自己を高めるための目標を設定し、その達成を目指して希望と勇気を持ち、困難があってもあきらめずに努力してやり抜こうとする心情を育てる。

6 人権教育の視点

- ・ 左足を失った丸山選手の心の痛みに寄り添うことで、共感的に受容できるようにする。
- ・ 障がいの有無に関わらず、困難を乗り越える人間の強さについて語り合い、困難に立ち向かい精一杯生きていくことの大切さに気付くことができるようにする。

7 指導上の留意点 (略)

8 展開

◇人権教育にかかわる配慮点

段階	学習活動	○発問・予想される児童の反応	教師の指導 評価の視点	時	備考
導入	1 自分の立てた目標について取組を振り返る。	○自分はどのように取り組んでいますか。 ・すぐにあきらめちゃった。 ・順調であれば頑張れるけど、一度躓くと嫌になっちゃう。	・アンケート結果を表示して、他者との共通点や相違点、学級の傾向を確認できるようにする。 ◇どの意見も受容的に受け止める。	5	ICT アンケート機能
くじけそうになったとき、自分を支えてくれるものは、何だろう。					
展開	2 提示された映像を見て、思ったことを出し合う。	○映像を見て気づいたことを出しましょう。 ・スキー選手だ。 ・パラリンピックかな。	・映像を提示する。 ◇パラリンピックについて説明する。	5	ICT 活用
	3 教材を読み、考え合う。	○直也は、アルペン競技の練習にどんな気持ちで臨んだのでしょうか。	◇他者の意見を真剣に聞く姿を認める声がけをする。	10	